

令和7年度の取組み

1 認知症の理解と知識の普及啓発

(1) 認知症の理解を深めるための普及啓発の推進

①認知症サポーター養成講座の実施

○スーパーやドラッグストア等、日常生活に関わる企業・店舗での講座開催

企業向けチラシを作成し、市の企業訪問時に配布するほか、見守りネットワーク事業の協定を結んでいる企業へ声掛け

○集合型講座の開催

受講希望者が1人でも参加できる形で開催。（市職員対象の講座と合同実施、9月3日開催予定）

②認知症地域支援推進員の配置

新たに2名が研修を受講し、地域包括支援センターに10名配置

③認知症の理解促進に向けた地域での普及啓発事業

○認知症フォーラム、講座等（主なもの）

- ・中泉地区認知症フォーラム 6月21日（土）開催
- ・市主催認知症フォーラム ー令和7年度 人権教育講演会ー

開催日：令和7年11月29日（土）

時間：午後1時～4時

会場：なぎの木会館

内容：第1部 映画「オレンジランプ」上映会

主演 貫地谷しほり

和田正人

第2部 若年性認知症当事者

丹野智文氏 講演会

「認知症の私からみえる社会」



丹野智史さん

1974年宮城県生まれ

39歳の時に「若年性認知症」と診断される。認知症希望大使として、全国で自らの体験を語る活動をしている。

○認知症カフェの開催

認知症のこと、認知症の方の介護のことなど、日頃の悩みや心配ごとを気軽に相談したり、話し合える場所。

- ・市内各地で計30回程度開催予定
- ・認知症カフェ一覧を作成し市ホームページに公開するほか、医師会に配布し掲示を依頼
- ・小中学生や高校生など、子どもたちと交流する企画を予定

○認知症月間（9月）

- ・市役所・図書館（中央・福田・豊岡）での展示
- ・今之浦公園・かたりあのライトアップ
- ・i プラザでイベント開催予定



R6 年度展示の様子

(2) 認知症の進行段階に合わせた、医療・介護の提供

①認知症疾患医療センター（磐田市立総合病院）、市内認知症サポート医との連携を推進。

②いわた認知症ハンドブックの活用

- ・認知症への正しい理解と、早期に相談・受診につなげるために、基本知識や相談先などを記載したパンフレット。（R5 に改訂）
- ・本人・家族向けに医療機関、地域包括支援センター窓口などで配布。



③認知症安心ガイドの活用

- ・認知症への理解を広めるとともに、自分や家族が認知症になったときの不安を少しでも軽減できるよう令和6年度に一般向けに作成。
- ・交流センター、図書館、医療機関、地域包括支援センターなどで配架。



(3) 認知症予防の推進

①継続的な認知症予防活動の普及

○社会参加により認知機能の維持を図る

- ・いきいき百歳体操：111 団体（R7 年 3 月末時点）
※筋力・口腔機能・認知機能の維持・向上などの効果が期待され、交流センター等で週 1 回実施
- ・シニアクラブ：91 団体（R7.3 月末時点）
- ・高齢者サロン：176 団体（R7.3 月末時点）

○いきいき百歳体操交流会の開催（令和 7 年 6 月）

「しゃきしゃき百歳体操で認知機能の維持・向上をめざそう」をテーマに実施



②認知症の方やその家族の集いの場の普及

- ・認知症カフェ（再掲）
- ・家族介護者交流会：6 回開催予定（地域包括支援センターを中心に事業所や地域住民と協働して開催）

2 認知症の人とその家族への支援

(1) 若年性認知症当事者、家族の交流の場の提供

- 若年性認知症家族交流会の開催（2回開催予定）
- 若年性認知症当事者交流会の開催

(2) 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進

①（仮称）「認知症の方に優しいお店」認定制度の検討

認知症の方やそのご家族が気兼ねなく外出できるよう、認知症への理解を深めたお店を認定する制度の創設を進める。

②認知症高齢者等事前登録制度（見守りオレンジシール）の推進

（登録者数：208名（R7年3月末時点））

③認知症高齢者等個人損害賠償保険事業の推進

- ・事前登録者の中で保険加入を希望する方を対象に、踏切事故、交通事故等で他者に負わせた損害を補償するもの。（保険加入者：192名（R7年3月末時点））

(3) 認知症施策推進基本計画の策定準備

令和6年1月に施行された「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」では、「新しい認知症観」に立った市町村認知症施策推進基本計画の策定が求められている。本市では、実態調査の実施や当事者及び家族の意見を聴いた上で、今後策定する「第11次高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画」（計画期間：令和9年度～3年間）に基本計画を位置づける予定。